



技能検定受検案内

[兼技能五輪岡山県予選会の参加案内]

技能検定は、職業能力開発促進法に基づいて、働くうえで身につける、又は必要とされる技能の習得レベルを国が評価する国家検定制度です。

技能検定には、技能習得レベルにより特級から3級まであり、特級、1級及び単一等級の合格者には厚生労働大臣から、2級及び3級の合格者には岡山県知事から合格証書が交付され、『技能士』の称号が与えられます。

また、合格者のうち、成績優秀な方は、その成績に応じて岡山県又は岡山県職業能力開発協会から表彰されます。

◇受検申請書の受付 ※郵送のみ受付 簡易書留郵便又はレターパックプラスで送付のこと

令和8年4月6日(月)から4月17日(金)まで

※4月17日までの消印があるものに限り受付いたします。

※受付期間外に当協会に到達した受検申請書は受理できません。

※上記以外の方法(普通郵便、特定記録郵便、レターパックライトなど)で郵送した場合、未着や配達遅延等が発生した際の責任は負いかねます。

※受検申請書を協会へ直接持参や郵便受けなどに投函しても受理することはできません。また電子申請にも対応しておりません。

目次

1 受検申請にあたっての変更点及び留意点	P.1	9 よくある質問	P.18
2 試験の概要	P.2	<受検申請全般に関する Q&A>	
3 受検申請の手続	P.3	<受検資格に関する Q&A>	
4 実施職種一覧表	P.5	<免除に関する Q&A>	
5 受検手数料の額	P.7	<受検手数料に関する Q&A>	
6 受検にあたっての注意事項	P.8	<学科試験や実技試験に関する Q&A>	
<受検者の所属事業所等で行う実技試験について>		<試験結果に関する Q&A>	
<免許、特別教育等が必要な職種(作業)一覧>		10 技能五輪全国大会岡山県予選会参加案内	P.23
<実技試験の先着日順の取扱いについて>		11 技能検定実施計画書	P.24
<表彰や個人情報の取扱いについて>		12 一括納付内訳書	P.25
<技能検定の準備講習会等における情報提供等について>		13 受検申請内容変更届	P.26
7 受検申請書の記入例	P.11	14 技能検定受検案内・受検申請書申込書	P.27
8 受検・免除資格等に関する資料	P.14		
<受検資格一覧表>			
<検定職種に関する学科・指導員免許職種一覧表>			
<免除資格一覧表>			

実施日程

◇受検票の送付、実技試験問題の公表	※受検者の自宅へ宅配便にて順次送付します。 (学生は、一部送付方法が異なる場合があります。) ※交付した受検票や実技試験問題の再発行はできません。 ※受検票が6月中旬になっても届かない場合は、必ず協会までお問い合わせください。
6月3日(水)より順次送付	
◇実技試験の実施	※3級職種(金属熱処理職種を除く)は、8月9日(日)までの実施となります。 ※一部の職種・作業については、全国統一実施日の実施となります。 ※詳しくは実施職種一覧表(5・6ページ)をご確認ください。
6月10日(水) から 9月9日(水) まで	
◇学科試験の実施	※職種毎に異なります。詳しくは実施職種一覧表(5・6ページ)をご確認ください。
7月12日(日)、8月23日(日)	
8月30日(日)、9月6日(日) のいずれかの日	
◇合格発表	※岡山県産業労働部労働雇用政策課のホームページに合格者の受検番号が掲載されます。 ※学科試験又は実技試験のいずれかに合格した方、不合格の方の受検番号は、岡山県のホームページには掲載されません。 合格発表については、(2ページ)をご確認ください。
10月2日(金)	
※3級職種(金属熱処理職種を除く)は8月28日(金)	

1 受検申請にあたっての変更点及び留意点

- ◆ **受検申請書の様式を変更しました。**
技能検定受検申請書左票の右下に「ver. 2026. 04」と表記されている受検申請書を使用して申請してください。古いバージョンの受検申請書(例: ver. 2025. 04)や、随時試験用の受検申請書等では申請できません。
- ◆ **健康保険被保険者証は、本人確認書類として使用できません。**
- ◆ **受検申請時点では、試験日時及び試験会場は決定していません。**
試験問題公開日以降、受検票の送付をもって試験日時及び試験会場をお知らせします。ただし、全国统一実施日で行う学科試験及び一部の実技試験は除きます。なお、受検者の都合による試験日時・試験会場の変更・取消・次回以降の振替対応はできません。
- ◆ **一部作業の受検申請は、先着順となります。**
先着順となる作業・級等の詳細は、「実施職種一覧表」(5・6ページ)及び「受検にあたっての注意事項」(9ページ)をご確認ください。なお、受検申請受付期間中は、多くの受検申請書が集中して届くため、先着状況について回答いたしかねます。ご了承ください。また、**受検申請内容に不備がある場合は、不備補正後の受付となり、不備補正中に定員に達し、受付を締め切る場合がありますので、ご注意ください。**
- ◆ **受検申請書の到着確認や、受検申請内容の不備の有無については回答できません。**
郵便局が発行する追跡番号により各自でご確認ください。
次の場合に該当した場合は、受検申請者又は技能検定担当者へ連絡の上、受検手数料の返金や受検申請書の返送対応となります。なお、提出された書類等(例: 受検申請書、免除書類、振込書類)については、返却できません。
 - 主催者側の都合により、実技試験又は学科試験が中止となった場合
 - 先着順で受検できなかった場合、又は抽選等により選外となった場合
 - 申請内容の不備により受検資格を満たさなかった場合
 - 受検申請書が受付期間前や受付期間後に届いた場合
 - 過入金又は誤入金があった場合
- ◆ **原則として、同一人物が複数の検定職種(作業)に同時に受検申請することはできません。**
- ◆ **受検申請書受付後は、受検のキャンセル、作業、級、区分等の変更はできません。**
- ◆ **受検申請書に免除書類が添付されていない場合は、免除を受けることができません。**
受検申請後に免除漏れが判明した場合であっても、免除対応はできません。
- ◆ **実技試験の一部作業は、所属事業所や学校等で実施します。**
実技試験の一部作業については、所属事業所や学校等で実施します。実技試験の実施方式が事業所と記載されている作業については、**事業所**で実施可能な条件(8ページ)を確認し、技能検定実技試験実施計画書(24ページ)を事業所の技能検定担当者より受検申請前までに協会へ提出し、実施の**事前承認**を受けてください。その後、受検申請書の受付期間中に受検申請書を提出してください。**事前承認**を受けていない場合は、受検申請を受理できない場合があります。
- ◆ **振込みの際に発行される利用明細書、振込金受取書等をもって領収書の発行に代えさせていただきます。なお請求書の発行は行っておりません。また受検手数料は**非課税**となり、仕入れ税額控除の対象外となります。**
- ◆ **実技試験問題の概要は、当協会ホームページ>能力評価事業>技能検定(定期試験)内の令和8年度(前期)技能検定に関する情報からご確認ください。**
- ◆ **受検申請に関する情報、試験中止等の情報については、当協会のホームページへ随時掲載いたしますので、必ずご確認ください。**
- ◆ **障害のある方(視覚・聴覚・言語・肢体不自由等)で特別な配慮が必要な場合は、受検申請前に対応の可否について必ず当協会へご相談ください。**
- ◆ **受検申請者数が少ない職種・作業については、受検申請後に実技試験を実施しない場合があります。その場合は、当協会より該当者へご連絡いたします。**

2 試験の概要

学科試験について

- 試験日程は実施職種一覧表（5・6ページ）でご確認ください。
- 試験日、試験会場、集合時間については、6月3日（水）以降順次送付する受検票により通知します。
※受検者都合による試験会場の変更はできません。

試験方法	全てマークシート方式により実施します。		
	級 別	出題形式	試験時間
	1・2・単一等級	「真偽法」(正誤を判定する)と「四肢択一法」との併用	1時間40分
	3級	「真偽法」	1時間
関係法令JIS等について	令和8年度(前期)技能検定学科試験、実技試験(判断等試験及び計画立案等作業試験)における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和7年10月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種(作業)ごとに、実作業の現場における状況等を勘案し、一般的に普及しているものに基づく場合もあります。		

実技試験について

- 統一実施日程は、実施職種一覧表（5・6ページ）でご確認ください。
- 試験日、試験会場、集合時間については、6月3日（水）以降順次送付する受検票により通知します。
- 実技試験問題については、6月3日（水）以降に受検票とあわせて公表します。

※受検者都合による試験日時や試験会場の変更はできません。

※実技試験は、**製作等作業試験**(旧:作業試験)、**判断等試験**(旧:要素試験)、**計画立案等作業試験**(旧:ペーパーテスト)により構成され、作業内で複数の試験内容が設定されている場合は、**全ての試験を受検しなければ、実技試験を受検したことになりません**ので、ご注意ください。

※一部の職種の製作等作業試験と全職種の計画立案等作業試験・判断等試験は、概要のみ公表されます。

※受検票に記載されている試験日時等が天災等により変更する場合は、当協会のホームページにてお知らせします。

合格発表について

岡山県産業労働部労働雇用政策課のホームページに合格者の受検番号が掲載されます。なお、**試験の結果(作品の評価、採点や減点の箇所、採点の方法)等については、一切お答えできません。**

学科試験又は実技試験のいずれかに合格した方、不合格の方の受検番号は掲載されません。

■学科試験及び実技試験の両方に合格した方

→合格発表日以降に岡山県から「技能検定合格証書」と「技能士章」が交付されます。

■学科試験又は実技試験のいずれかに合格した方

→合格発表日以降に当協会から「学科試験又は実技試験合格通知」(一部合格通知)を送付します。

■受検した全ての試験が不合格の方

→不合格の方には通知はいたしません。

試験結果の本人への提供

この試験の結果については、個人情報保護に関する法律（平成15年法律第57号）第69条第2項第1号の規定により、本人に提供することができます。

提供を希望される場合は、**受検者本人**が、受検票及び本人であることを証明する書類(運転免許証、パスポート等)を持参の上、次の場所に直接お越しください。

なお、電話、はがき及び電子メール等による提供はできません。

また、提供する内容は、受検者本人の実技試験の得点及び学科試験の得点のみとなっています。提供方法は口頭となります。

試 験	提 供 内 容	提 供 期 間	提 供 場 所
令和8年度前期 技能検定試験	受検者本人の実技試験の 得点及び学科試験の得点	令和8年8月28日(金)～9月28日(月) 金属熱処理職種を除く3級職種が対象 令和8年10月2日(金)～11月2日(月) <土・日・祝日を除く。> 8:30～17:00(12:00～13:00を除く。)	岡山県産業労働部 労働雇用政策課 岡山市北区内山下2-4-6 TEL:086-226-7387(直通)

3 受検申請の手続

○受検申請受付期間

令和8年4月6日（月）～4月17日（金）
 ※4月17日までの消印があるものに限り受付いたします。
 ※受付期間外に当協会に到達した受検申請書は受理できません。

○提出方法

封筒の表に**技能検定受検申請書在中**と朱書きし、**簡易書留郵便**又は**レターパックプラス**でお送りください。なお、上記以外（例：普通郵便、特定記録郵便、レターパックライト、ゆうメール、宅急便、宅配便等）で送付された場合は、遅延や配送事故等を含め当協会は一切責任を負いません。また、**受検申請書の到着確認は回答いたしかねます**。配達状況は、郵便局が発行する追跡番号にて各自ご確認ください。

○提出先

〒700-0812
 岡山市北区出石町1-2-11
 イマージュ・シャトー2階
 岡山県職業能力開発協会 行

技能検定受検申請書在中

送付時にラベルとしてご活用いただけます

○提出書類

技能検定受検申請書 ※受検申請書は「**ver. 2026. 04**」の様式をご利用ください。

受検申請書は、受検申請書の記入例及び記入上の注意点(11～13ページ)及びよくある質問(18～22ページ)をよく参照し、受検者本人が丁寧に記入してください。記入方法が不明の場合は、受検申請受付期間前までに当協会へお問い合わせください。

また、受検申請書が入手できないといったご相談等がありますが、受検申請書は原本以外での提出は受理できませんので、受検申請書を早めに入手し、受検申請受付期間中、早めの受検申請提出をお願いいたします。なお、受検申請書の入手方法は次のとおりです。

●受検申請書を直接入手する場合

裏表紙に記載の配布場所にて入手できますが、在庫状況は日々変わります。在庫の有無については、配布場所へ直接ご確認ください。なお、配布場所に在庫がなかった場合は、岡山職業能力開発促進センター又は中国職業能力開発大学校の場合は、当協会(086-225-1547)へ、それ以外の配布場所の場合は、岡山県産業労働部労働雇用政策課(086-226-7387)へご連絡ください。

●受検申請書を送付希望する場合

技能検定受検案内・受検申請書申込書(裏表紙)を用いて、当協会へお申込みください。送付方法は、**宅配便(着払い)**のみ取扱いとなります。それ以外の送付は、対応いたしかねます。

また、送付までに日数を要するため、**送付対応は、4月10日(金)申込分まで**とさせていただきます。

本人確認書類(写し) ※学生は、学校長の証明により、本人確認書類の添付を省略できます。

次のいずれかの写しを申請書に貼り付けてください。

- 運転免許証、マイナンバーカード
(個人番号部分は**黒塗り**すること)
- 資格確認書 ※健康保険被保険者証は使用できません。
(記号、番号、保険者番号は**黒塗り**すること)
- 日本の官公庁が発行した身分証明書
(氏名、生年月日が記載されているもの)
- 生徒手帳、学生証
(氏名、生年月日が記載されているもの)
- 特別永住者証明書
- 外国政府が発券した旅券
(写真欄及び日本国査証欄)
- 在留カード

免除資格証明書類(写し) ※学科試験や実技試験の免除申請する方のみ

学科試験・実技試験の免除を受けようとする方は、免除資格を証明できる合格証書や合格通知等の写しを必ず添付してください。なお、受検申請書に添付していない場合や試験の免除資格があることが後日判明しても、試験の免除は受けられません。なお、特級以外の学科試験又は実技試験合格通知については、有効期限は設けられておりません。

【再発行についてのお問合せ先】再発行には日数を要するため、申請は日程に余裕をもって行ってください。

- 技能検定合格証書 ➡ 岡山県産業労働部労働雇用政策課(086-226-7387)
- 学科試験又は実技試験合格通知 ➡ 岡山県職業能力開発協会 技能振興課(086-225-1547)



(例)技能検定合格証書



(例)学科試験又は実技試験合格通知

写真

上半身脱帽の写真を用意してください。カラーコピーでも可能です。ただし、プリントアウトする用紙は必ず「写真専用用紙」をお使いください。また、写真の裏面に受検級、受検作業名、氏名を記入し、写真票に確実に貼り付けてください。写真の必要枚数は、下記又は写真票⑨(13ページ)を参照ください。

□学科試験を受検する場合(受検区分が、A甲・A乙・Bの方)

➔ 写真票(学科試験)に写真が必要

□実技試験を受検する場合(受検区分が、A甲・A丙・Cの方)

必要な枚数は、作業・級によって異なります。詳しくは5・6ページを参照ください。

① 実技試験の種類が1種類(例:製作等作業試験…あり、判断等試験…なし、計画立案等試験…なし)

➔ 写真票(実技試験①)に写真が必要

② 実技試験の種類が2種類(例:製作等作業試験…あり、判断等試験…なし、計画立案等試験…あり)

➔ 写真票(実技試験①・実技試験②)の両方に写真が必要

振込確認書類の写し

受検申請書の振込確認書類貼付欄②(13ページ参照)に、振込確認書類の写し(「振込日」「振込人名」「振込金額」「振込先」が分かること)を貼付してください。ネットバンキングご利用の場合は、振込画面をプリントアウトした物でも代用が可能です。ただし、「振込日」「振込人名」「振込金額」「振込先」の情報が掲載されていない場合は、振込確認書類として利用できませんので、ご注意ください。

領収書は発行していません。また、提出いただいた振込確認書類は返却できませんので、ご注意ください。

受検手数料の振込先

銀行名/支店名(番号)**中国銀行(0168)/県庁支店(107)**

預金種別 **普通預金**

口座番号 **1362630**

口座名義(カナ) **オカヤマケンシヨクギョウノウリヨクカイハツキョウカイ**

口座名義 **岡山県職業能力開発協会**

※入金金額が受検手数料と相違ないか振込前に必ずご確認ください。

※振込手数料は、受検申請者の負担となります。

※振込の際に発行される利用明細書、振込金受取書等を領収書の発行に代えさせていただきます。

一括納付内訳書 ※該当する方のみ

複数名の受検手数料を一括振込される場合は、一括納付内訳書(25ページ)に記入し、振込確認書類の写しを振込確認書類貼付欄に貼付してください。

技能検定実施計画書 ※該当する方のみ

実技試験の一部作業については、所属事業所や学校等で実施します。実技試験の実施方式が事業所と記載されている作業については、事業所で実施可能な条件(8ページ)を確認し、技能検定実技試験実施計画書(24ページ)を事業所の技能検定担当者より受検申請前までに協会へ提出し、実施の事前承認を受けてください。その後、受検申請書の受付期間中に受検申請書を提出してください。事前承認を受けていない場合は、受検申請を受理できない場合があります。

3級の技能検定の受検資格付与に係る確認書 ※該当する方のみ

検定職種における講習を受講された方(3級のみ)は、「工業高等学校に在学する方等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定された方」については、「3級の技能検定の受検資格付与に係る確認書」の提出が必要です。

4 実施職種一覧表

実技試験が「受検票で通知」となっている試験は、実技試験の実施期間中(表紙参照)に実施するため、受検申請時は、実技試験の日時が未定となります。また、6月3日(水)以降に送付する受検票に通知された試験日時や試験会場は、受検者都合による変更はできませんので予めご了承ください。

1級・2級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験	実技試験					備考
					実施方式	定員	製作等作業試験	判断等試験	計画立案等作業試験	
103	園芸装飾	010	室内園芸装飾	9月6日 午前	集合	各級ごと 3名	受検票で通知	-	-	先
062	造園	010	造園工事	8月23日 午前	集合	なし	受検票で通知	受検票で通知	-	
003	鑄造	010	鑄鉄鑄物鑄造	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
005	金属熱処理	010	一般熱処理	8月23日 午前	集合	なし	-	8月30日 時間未定	8月23日 午後	1級は受検申請不可
		020	浸炭・浸炭窒化・窒化処理	8月23日 午前	集合	なし	-	8月30日 時間未定	8月23日 午後	1級は受検申請不可
		030	高周波・炎熱処理	8月23日 午前	集合	なし	-	8月30日 時間未定	8月23日 午後	1級は受検申請不可
091	粉末冶金	020	焼結	8月30日 午前	集合	なし	受検票で通知	8月30日 午後	8月30日 午後	
006	機械加工	010	普通旋盤●	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		200	数値制御旋盤	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	8月30日 午後	
		040	フライス盤●	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		210	数値制御フライス盤	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	8月30日 午後	
		120	平面研削盤	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		130	円筒研削盤	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		230	マシニングセンタ	8月30日 午前	集合	なし	-	受検票で通知	8月30日 午後	
183	非接触除去加工	020	数値制御彫り放電加工	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	※9月6日 午後	※1級のみ実施
		030	ワイヤ放電加工	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	※9月6日 午後	※1級のみ実施
		040	レーザー加工	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
007	金属プレス加工	010	金属プレス	8月23日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	8月23日 午後	時
008	鉄工	010	製缶	8月30日 午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	先※1級のみ・時
		020	構造物鉄工●	8月30日 午前	集合	12名	受検票で通知	-	-	先・時・時
122	建築板金	010	内外装板金	9月6日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
		020	ダクト板金	9月6日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
123	工場板金	010	曲げ板金●	9月6日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	先
012	仕上げ	010	治工具仕上げ	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		020	金型仕上げ	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		030	機械組立仕上げ●	9月6日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
014	ダイカスト	020	コールドチャンバダイカスト	8月30日 午前	事業所	なし	受検票で通知	-	8月30日 午後	先・時※1級のみ
015	電子機器組立て	010	電子機器組立て●	8月30日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
016	電気機器組立て	030	配電盤・制御盤組立て●	9月6日 午前	集合	20名	受検票で通知	-	-	先
068	建設機械整備	010	建設機械整備	8月30日 午前	集合	40名	受検票で通知	-	8月30日 午後	先・時
025	婦人子供服製造	010	婦人子供注文服製作●	8月30日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
124	家具製作	010	家具手加工●	8月30日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
125	建具製作	010	木製建具手加工●	8月30日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
035	印刷	020	オフセット印刷	8月30日 午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
037	プラスチック成形	020	射出成形	8月23日 午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		040	真空成形	8月23日 午後	集合	なし	-	9月6日 時間未定	9月6日 午前	
040	とび	010	とび●	8月23日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
041	左官	010	左官●	8月30日 午後	集合	10名	受検票で通知	-	-	先
042	築炉	010	築炉	8月23日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
043	ブロック建築	010	コンクリートブロック工事	9月6日 午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
044	タイル張り	010	タイル張り●	9月6日 午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	
045	畳製作	010	畳製作	8月30日 午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	

職種番号	職種名	作業番号	作業名	学科試験	実技試験					備考
					実施方式	定員	製作等作業試験	判断等試験	計画立案等作業試験	
086	防水施工	020	ウレタンゴム系塗膜防水工事	8月23日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
		070	シーリング防水工事	8月23日午後	集合	10名	受検票で通知	-	-	先
		100	FRP防水工事	8月23日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
152	内装仕上げ施工	010	プラスチック系床仕上げ工事	8月30日午前	集合	8名	受検票で通知	-	-	先
		030	鋼製下地工事	8月30日午前	集合	4名	受検票で通知	-	-	特・先
		040	ボード仕上げ工事	8月30日午前	集合	8名	受検票で通知	-	-	先
		070	化粧フィルム工事	8月30日午前	集合	5名	受検票で通知	-	-	先
049	熱絶縁施工	010	保温保冷工事	9月6日午前	集合	25名	受検票で通知	-	-	先
102	サッシ施工	010	ビル用サッシ施工	8月23日午前	集合	8名	受検票で通知	-	-	特・先
059	表装	020	壁装	9月6日午前	集合	14名	受検票で通知	-	-	先
060	塗装	020	建築塗装	8月23日午前	集合	40名	受検票で通知	-	-	先 多孔隙ローラーブラシ塗りで実施
		030	金属塗装	8月23日午前	集合	40名	受検票で通知	-	-	先
119	フラワー装飾	010	フラワー装飾●	9月6日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	2級のみ選択課題あり A: プライダルブーケ B: 籠花

単一等級

111	塗料調色	010	調色	9月6日午後	集合	なし	受検票で通知	受検票で通知	-	
159	産業洗浄	010	高圧洗浄	8月23日午前	集合	なし	受検票で通知	-	8月23日午後	

3級

103	園芸装飾	010	室内園芸装飾	7月12日午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	
062	造園	010	造園工事	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	受検票で通知	-	
003	鑄造	010	鑄鉄鑄物鑄造	7月12日午後	事業所	なし	受検票で通知	受検票で通知	-	
005	金属熱処理	010	一般熱処理	8月23日午前	集合	なし	-	8月30日時間未定	8月23日午後	
		020	浸炭・浸炭窒化・窒化処理	8月23日午前	集合	なし	-	8月30日時間未定	8月23日午後	
		030	高周波・炎熱処理	8月23日午前	集合	なし	-	8月30日時間未定	8月23日午後	
006	機械加工	010	普通旋盤	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		200	数値制御旋盤	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		040	フライス盤	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		120	平面研削盤	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
		230	マシニングセンタ	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
123	工場板金	010	曲げ板金	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
010	めっき	010	電気めっき	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
012	仕上げ	030	機械組立仕上げ	7月12日午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
013	機械検査	010	機械検査	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	
015	電子機器組立て	010	電子機器組立て	7月12日午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	
184	シーケンス制御	010	シーケンス制御	7月12日午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
038	建築大工	010	大工工事	7月12日午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
040	とび	010	とび	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	特
041	左官	010	左官	7月12日午前	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
043	ブロック建築	010	コンクリートブロック工事	7月12日午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	
056	化学分析	010	化学分析	7月12日午前	集合	なし	受検票で通知	-	-	
060	塗装	030	金属塗装	7月12日午後	事業所	なし	受検票で通知	-	-	
112	舞台機構調整	010	音響機構調整	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	受検票で通知	-	
119	フラワー装飾	010	フラワー装飾	7月12日午後	集合	なし	受検票で通知	-	-	

【注意事項】

作業名に「●」がついている2級の実技試験は、技能五輪予選対象職種です。詳しくは23ページをご覧ください。

実技試験の実施方式が「事業所」の場合は、必ず「技能検定実施計画書」を事前に提出していただき、協会より事前承認を受ける必要があります。詳しくは、8ページをご覧ください。

先…試験日に免許証又は技能講習修了書の提示が必要です。詳しくは、9ページをご覧ください。

特…試験日までに特別教育の修了が必要です。詳しくは、9ページをご覧ください。

先…実技試験の希望者は、先着順となります。詳しくは9ページをご覧ください。

5 受検手数料の額

受検する試験の手数料を受検申請時に納付してください。

受検手数料
 =
 学科試験受検手数料
一律 3,100円
 +
 実技試験受検手数料
※下記フローチャート図参照

●学科試験受検手数料

全員(受検級・職種・年齢に関係なく)

一律 3,100円

●実技試験受検手数料 ※受検する級・職種・年齢等によって手数料が異なります。

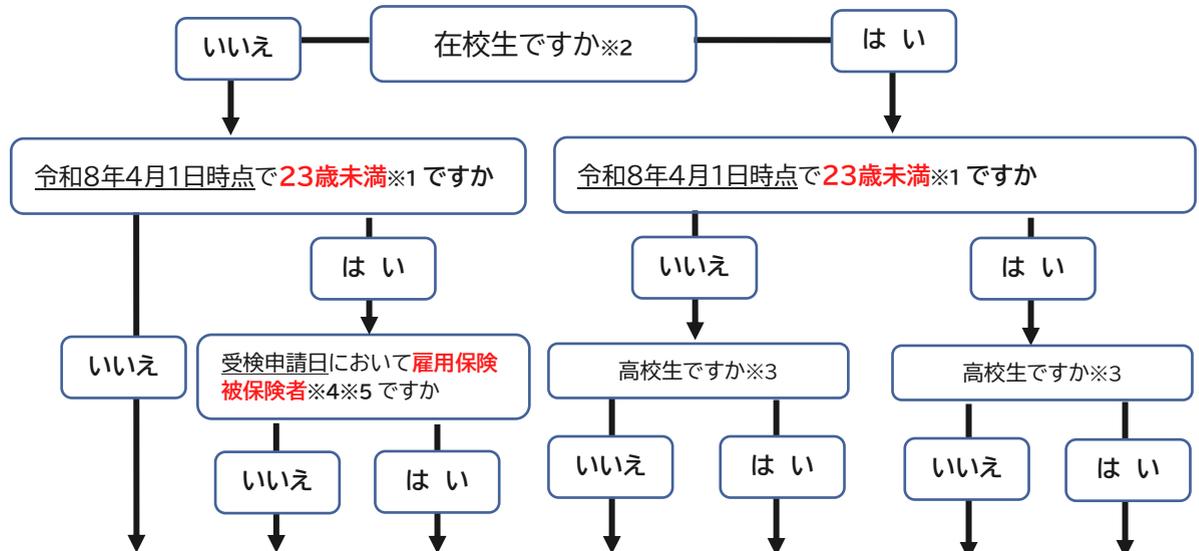
■特級の場合

職種名	全職種
	18,200円

■1級・2級(技能五輪予選含む)・単一等級の場合

職種名	機械・プラント製図 電気製図・和裁	機械検査 婦人子供服製造	左記以外の全職種
	13,300円	15,100円	18,200円

■3級の場合 ※3級のみ年齢での減額があります。それ以外の級はありません。



職種名	在校生以外			在校生			
	その他	23歳未満		その他		23歳未満	
		その他	雇用保険被保険者	その他	高校生	その他	高校生
・機械・プラント製図 ・電気製図・和裁	13,300円	8,800円	4,300円	8,900円	4,400円	4,400円	2,900円
・機械検査 ・婦人子供服製造	15,100円	10,600円	6,100円	10,100円	5,600円	5,600円	2,900円
上記以外の全職種	18,200円	13,700円	9,200円	12,100円	7,600円	7,600円	3,100円

※1 令和8年4月1日現在で23歳未満の方(平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた方)。ただし、出入国管理及び難民認定法別表第1の上欄の在留資格をもって在留する方を除く。(例)技能実習生、特定技能、研修、留学等

※2 次のいずれかに該当する方

●公共職業能力開発施設、職業能力開発総合大学校若しくは職業能力開発大学校の訓練生又は認定職業訓練施設の訓練生(就職している方を除く。)ただし、短期課程の普通職業訓練又は専門短期課程若しくは応用短期課程の高度職業訓練を受けている方を除く。

●高等学校又は学校教育法に基づく中等教育学校の後期課程、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の生徒又は学生

●その他知事が認める方

※3 県内の高校生で、低所得世帯等については、実技試験手数料の免除制度があります。詳細は、当協会までご確認ください。学科試験手数料は一律3,100円です。

※4 雇用保険被保険者とは、雇用保険法(昭和49年法律第116号)第4条第1項に規定する被保険者をいいます。

※5 受検申請書表面の、雇用保険加入確認等のための雇用主証明欄に、雇用主の証明(記名押印)が必要となります。

6 受検にあたっての注意事項

受検者の所属事業所等で行う実技試験について

実技試験には、実施方法が2種類あり、様々な所属の受検者が指定された試験会場に集合して一斉に受検する集合実施方式と、次に示す職種・作業のように、受検者の所属事務所等の設備を利用して受検する事業所実施方式があります。

実施職種一覧表(5・6ページ)の実技試験の実施方式で**事業所**と記載された作業については、技能検定実施計画書(24ページ)を受検申請受付開始前までに当協会へ必ず提出し、事前承認を受けてください。なお、事業所で受検希望者が複数名いる場合は、所属先等で受検希望者の受検申請書を取りまとめ、ご提出ください。

実施について承認を受けた後は、受検申請書の受付期間中に受検申請書を提出してください。事前承認を受けていない場合は、受検申請を受理できない場合があります。また、受検申請書提出後に、実施可能な条件が揃わないことを理由に、受検手数料の返金や次回以降の試験に振替えることはできません。

また、次の職種以外についても、受検者数が少ない場合は、当協会の判断で事業所実施方式に変更する場合があります。予めご了承ください。

事業所で実施可能な条件

- 1 実技試験会場を岡山県内で用意することができること。
- 2 初めて試験を実施する会場は、平日の午前8時30分から午後5時までの間に行うこと。※1※2
- 3 技能検定実技試験実施計画書を受検申請前までに協会へ提出し、実施の事前承認を受けておくこと。
- 4 試験に使用する会場、設備、材料、道具、器具類等は、全て受検者側で準備・調整し、実施に協力できること。※4
- 5 試験の実施・運営に携わる技能検定委員や補佐員等について、協会から求める必要人員を推薦できること。※5
- 6 技能検定委員は、試験実施に伴う打合せ会議に必ず出席できること。
- 7 試験当日は、協会職員が適正な実施確認のため訪問する場合があります、訪問する場合は対応できること。
- 8 集合採点を行う職種(作業)の場合は、技能検定委員が集合採点日に必ず出席できること。

対象職種	対象作業	級	備考
鋳造	鋳鉄鋳物鋳造	1級・2級・3級	※ 1級・2級のみ集合採点あり
機械加工	普通旋盤 数値制御旋盤 フライス盤 数値制御フライス盤 平面研削盤 円筒研削盤 マシニングセンタ	1級・2級・3級	※ 集合採点あり ※ 6月10日～7月17日までに試験を実施すること ※ マシニングセンタ作業の1級・2級は集合実施のため対象外
非接触除去加工	数値制御形彫り放電加工 ワイヤ放電加工 レーザー加工	1級・2級	※ 集合採点あり ※ 6月10日～7月17日までに試験を実施すること
金属プレス加工	金属プレス ※3	1級・2級	※ 集合採点あり ※ 6月10日～7月31日までに試験を実施すること ※ 試験用金型については、貸出可
仕上げ	治工器具仕上げ 金型仕上げ 機械組立仕上げ	1級・2級・3級	※ 集合採点あり ※ 6月10日～7月17日までに試験を実施すること
ダイカスト	コールドチャンバダイカスト	1級・2級	※ 当日採点
印刷	オフセット印刷	1級・2級	※ 当日採点
プラスチック成形	射出成形 ※3 ※真空成形作業は除く	1級・2級	※ 集合採点あり ※ 6月10日～7月31日までに試験を実施すること ※ 試験用金型については、貸出可
畳製作	畳製作	1級・2級	※ 当日採点
シーケンス制御	シーケンス制御	3級	※ 当日採点
建築大工	大工工事	3級	※ 当日採点
とび	とび	3級	※ 1級・2級は、集合実施のため対象外
左官	左官	3級	※ 1級・2級は、集合実施のため対象外
塗装	金属塗装	3級	※ 1級・2級は、集合実施のため対象外

(注意事項)

- ※1 平日の8時30分～17時までは協会は電話対応可能です。左記以外の時間並びに土・日・祝日については、電話対応不可となります。
- ※2 協会職員の立会は原則ありません。実施に必要な資料については協会より技能検定委員へ事前に送付します。技能検定委員にて資料等の内容確認、保管、返送等の対応をしていただく必要があります。
- ※3 射出成形作業、金属プレス作業の検定資材の貸出しを希望する会場は、受検申請受付期間前に当協会へご相談ください。
- ※4 機械加工、非接触除去加工、金属プレス加工、仕上げ、プラスチック成形などについては、設備トラブル等に備え、可能な限り予備設備をご準備ください。
- ※5 必要な人員数が不明な場合は、受検申請前に当協会へご相談ください。

技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種(作業)一覧

職種(作業名)	等級	免許又は 技能講習	特別 教育	該当内容	試験当日の対応
金属プレス加工 (金属プレス)	1級・2級		●	動力プレスの金型取付け 等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
鉄工 (製缶)	1級	●		ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
			●	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
	2級		●	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
鉄工 (構造物鉄工)	1級・2級	●		ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
			●	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
工場板金 (曲げ板金)	1級・2級	●		ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
ダイカスト (コールドチャンバダイカスト)	1級	●		玉掛け作業	技能講習受講修了証等の資格証等の確認又 は特別教育受講修了証等の確認若しくは自 己申告書への署名
			●	クレーン運転	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
建設機械整備 (建設機械整備)	1級・2級	●		ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
内装仕上げ施工 (鋼製下地工事)	1級・2級		●	研削といし(高速といし) の取替え等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
サッシ施工 (ビル用サッシ施工)	1級・2級		●	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
とび (とび)	3級		●	足場の組立て等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名

免許又は技能講習

試験当日、労働安全衛生法第61条第1項に規定する資格証等(例:ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証)を携帯していなければ、原則として受検することができません。

特別教育

試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に規定する安全又は衛生のための特別教育を終了した証明書等の原本若しくは写しの提示又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

実技試験の先着日順の取扱いについて

次に示す職種(作業)の実技試験は、会場・設備の関係で定員に限られるため、**先着受付順**とします。定員を超えた日に到達した受検申請書は、抽選し受検者を決定いたします。定員に達し次第、当協会のホームページで状況を掲載する予定です。

- 県外の方からの受検申請は受付していません。(公示していない都道府県に居住している方からの受検申請は除きます。)
- 先着順は、郵便の消印日を根拠基準とします。(消印が不明瞭又は消印のない郵便物等は、受付期間最終日扱いとなります。)
- 受付期間前に協会に到達した受検申請書は受理できません。(消印とは異なります)
- 受入可能人数を超えた場合は、超過した日の受検申請書内で厳正な抽選を実施し、抽選日前に受理した受検申請書は有効となります。
- 定員に達した又は抽選に漏れた方には、後日連絡のうえ、受検手数料を返金いたします。

先着対象職種(作業名)	等級	人数	先着対象職種(作業名)	等級	人数
園芸装飾(室内園芸装飾)	1級・2級	1級・2級ごと 3名まで	内装仕上げ施工(ボード仕上げ 工事)	1級・2級	1級・2級合算 8名まで
鉄工(構造物鉄工)	1級・2級	1級・2級合算 12名まで	内装仕上げ施工(化粧フィルム 工事)	1級・2級	1級・2級合算 5名まで
電気機器組立て(配電盤・制御 盤組立て)	1級・2級	1級・2級合算 20名まで	熱絶縁施工(保温保冷工事)	1級・2級	1級・2級合算 25名まで
建設機械整備(建設機械整備)	1級・2級	1級・2級合算 40名まで	サッシ施工(ビル用サッシ施工)	1級・2級	1級・2級合算 8名まで
左官(左官)	1級・2級	1級・2級合算 10名まで	表装(壁装)	1級・2級	1級・2級合算 14名まで
防水施工(シーリング防水工事)	1級・2級	1級・2級合算 10名まで	塗装(建築塗装)	1級・2級	1級・2級合算 40名まで
内装仕上げ施工(プラスチック 系床仕上げ工事)	1級・2級	1級・2級合算 8名まで	塗装(金属塗装)	1級・2級	1級・2級合算 40名まで
内装仕上げ施工(鋼製下地工事)	1級・2級	1級・2級合算 4名まで			

実技試験を中止若しくは延期又は受検者数を制限して実施する場合について

- 1 試験会場等の都合により、実技試験を中止若しくは延期又は実技試験の受検者数を制限して実施場合があります。最新情報は、当協会のホームページに掲載しますので、受検申請前に必ずご確認ください。また、受検申請後についても、実技試験が中止又は延期になる場合がありますので、随時、当協会のホームページの最新情報をご確認ください。
- 2 試験会場等の都合により、実技試験を受検できなかった方につきましては、受検申請受付期間後に、所定の手続を経た上で、受検手数料に限り還付します。この場合、写真代、郵送料、銀行振込手数料等は、還付の対象とはなりません。なお、受検申請書類一式はお返しできません。また、他県での受検の振替手続や次年度以降への繰越手続もできませんので、あらかじめご了承ください。
- 3 実施職種一覧表(5・6ページ)において選択課題がある作業については、希望に添えない場合があります。

表彰について(受検区分が、A甲の方のみが対象)

技能検定試験において、受検区分をA甲(学科・実技とも受検)で申請し、優秀な成績で合格した方のうち、一定の基準を超えた方については成績優秀者として表彰されます。受検区分がA乙・A丙・B・C・Dの方は表彰対象外となります。

なお、受賞者は岡山県職業能力開発促進大会等で検定職種(作業)と氏名を公表しますので、公表を希望しない方は、受検申請時に岡山県職業能力開発協会(TEL:086-225-1546)までお申し出ください。

個人情報の取扱いについて

受検申請書に記載された個人情報の利用及び活用範囲は、次のとおりです。

次の利用目的以外に利用することはありません。

- 1 技能検定に関すること。
- 2 当協会が行う能力開発事業及び表彰事業の案内等に関すること。

技能検定の準備講習会等における情報提供について

技能検定の準備講習会等は、当協会では実施しておりません。また、準備講習会等の実施先や情報提供先についてもお答えできません。当協会に技能検定の準備講習会等を実施する目的で企業、団体、組合から受検者の情報提供依頼があった場合は、受検申請書の個人情報の取扱い欄で「はい」を選択されている方の情報について、受検者の情報(氏名・住所・電話・所属先・連絡先)を当協会から情報提供することがあります。

受検申請書で個人情報の取扱い区分を「いいえ」に記入された方又は未記入の方については、その情報を提供しません。また、受検申請書受付期間後に取扱い区分を変更することはできません。

受検者情報の提供を希望される場合について

受検者の情報提供を希望する企業、団体、組合は、当協会のHPに掲載している「情報提供依頼申請書」を用いて、4月30日(木)までに当協会へお申し込みください。なお、当協会から情報を提供する時期は、5月中旬頃を予定しております

年号対照、年齢・卒業年早見表

早生まれ(1・2・3月生まれ)の方は、1年さかのぼってください。入学時4月、卒業時3月です。

年齢は誕生日以降の満年齢です。誕生日前の年齢は「1」を引いてください。

和暦	西暦	年齢	中卒	高卒	大卒
昭38	1963	63	昭54	昭57	昭61
昭39	1964	62	昭55	昭58	昭62
昭40	1965	61	昭56	昭59	昭63
昭41	1966	60	昭57	昭60	平元
昭42	1967	59	昭58	昭61	平2
昭43	1968	58	昭59	昭62	平3
昭44	1969	57	昭60	昭63	平4
昭45	1970	56	昭61	平元	平5
昭46	1971	55	昭62	平2	平6
昭47	1972	54	昭63	平3	平7
昭48	1973	53	平元	平4	平8
昭49	1974	52	平2	平5	平9
昭50	1975	51	平3	平6	平10
昭51	1976	50	平4	平7	平11
昭52	1977	49	平5	平8	平12
昭53	1978	48	平6	平9	平13
昭54	1979	47	平7	平10	平14
昭55	1980	46	平8	平11	平15
昭56	1981	45	平9	平12	平16
昭57	1982	44	平10	平13	平17
昭58	1983	43	平11	平14	平18
昭59	1984	42	平12	平15	平19
昭60	1985	41	平13	平16	平20
昭61	1986	40	平14	平17	平21
昭62	1987	39	平15	平18	平22
昭63	1988	38	平16	平19	平23

和暦	西暦	年齢	中卒	高卒	大卒
平元	1989	37	平17	平20	平24
平2	1990	36	平18	平21	平25
平3	1991	35	平19	平22	平26
平4	1992	34	平20	平23	平27
平5	1993	33	平21	平24	平28
平6	1994	32	平22	平25	平29
平7	1995	31	平23	平26	平30
平8	1996	30	平24	平27	令元
平9	1997	29	平25	平28	令2
平10	1998	28	平26	平29	令3
平11	1999	27	平27	平30	令4
平12	2000	26	平28	令元	令5
平13	2001	25	平29	令2	令6
平14	2002	24	平30	令3	令7
平15	2003	23	令元	令4	令8
平16	2004	22	令2	令5	
平17	2005	21	令3	令6	
平18	2006	20	令4	令7	
平19	2007	19	令5	令8	
平20	2008	18	令6		
平21	2009	17	令7		
平22	2010	16	令8		
平23	2011				
平24	2012				
平25	2013				
平26	2014				

7 受検申請書の記入例

技能検定 受検申請書

岡山県知事様 技能検定を受けたいので申請します。

① 記入日 令和 8 年 4 月 6 日

② 氏名 岡山 孝郎

●受検者情報 ※技能士職全国大会予選会へ参加される方は、申請前に協会にご相談ください。

※協会使用欄(灰色部分)には何も記入しないこと。

③	受検級	受検区分	職種番号	006	職種名	機械加工	受検番号	0000000000	
	特級	A甲 学科・実技とも受験	作業番号	010	作業名	普通旋盤	選択課題	0000000000	
	1級	A乙 学科のみ受験(免除なし)	ふりか	⑦ おか やま		い ち ろ う			
	2級	A丙 実技のみ受験(免除なし)	氏名	⑧ 岡 山		⑨ 孝 郎			
	3級	B 学科受験(実技免除)	生年 月日	17	4	1	年齢	21	
単一等級	C 実技受験(学科免除)	性別	男		女	回答しない			
五輪予選	D 学科・実技とも受験	住所	⑩ 〒700-0812 岡山 岡山市北区出石町1-2-11イマージュ・シャトー2階101号室						
電話(携帯)	080-8243-****	⑪ 日中の連絡先	学校	電話	086-225-1547			技能検定 受検者名	技能 一朗

●個人情報の取扱い ※「いいえ」又は「未記入」の方の情報は、業界団体や職業訓練施設等が技能検定講習会等を実施するにあたって、私の情報(氏名、携帯電話、住所、所属先名及びご連絡先)の提供を希望します。

はい いいえ いいえ

●3級の減額確認 ※「いいえ」又は「未記入」の方の情報は、減額されません。23歳未満で3級の実技試験を受検する方は記入してください。

はい いいえ いいえ

●受検資格 ※受験資格となる必要な情報を正しく記入してください。

⑭	学 歴	学校名	岡山技能工業高等学校	専攻学科名	機械科	所在地	岡山	在学期間	令和4年4月～令和7年3月	在籍状況	卒業
	職業経歴	訓練種別	普通課程の普通職業訓練	短期課程の普通職業訓練	専門課程の高専職業訓練	応用課程の高専職業訓練	その他	訓練期間		卒業日	
職 歴	最 新	事業所名	株岡山技能工作所	所属・部署名	製造一課	所在地	岡山 岡山市北区内山下2-4-6	在職期間	令和7年4月～令和8年4月	経験年数	1年0か月
	職 務 内 容	普通旋盤を使用し、自動車や農業機械の部品を加工									
	日	事業所名		職務内容		所在地		在職期間		経験年数	
⑮	技能検定 状況	職種名		等級		技能士 番号		取得地		合格 年月日	
	作業名										

●試験の免除 ※受験区分が「B」「C」「D」の方は、免除に必要な情報を正しく記入してください。また、免除情報の明記は必ず除付してください。

⑮	学科 試験	受験区分	学科試験合格	技能士資格	職種名	機械加工	等級	3	取得地	岡山	取得 年月日	令和7年8月29日
	実技 試験	受験区分	実技試験合格	技能士	作業名	フライス盤作業	取得 番号	第25-3-006-33-9999				

●本人確認書類貼付欄

健康保険 本人(被保険者) ○○○○
 令和○年○月○日交付 (枚数)
 氏名 岡山 孝郎
 生年月日 平成○年○月○日
 性別 男
 資格取得年月日 令和○年○月○日
 有効期限 令和○年○月○日
 保険者番号 ○○○○○○
 保険者名称 ○○○○○○
 保険者所在地 ○○○○○○

●学校長証明書

申請者は、本校の在籍者であり、この受検申請書の記載の内容(氏名、生年月日)は、事実と異なることを証明いたしません。

学校名	
学校長名	

●雇用保険加入確認等のための雇用主証明書

3級の实技試験を受検し、申請日において雇用保険被保険者であること。
 ・受検年度の4月1日において23歳未満であること。
 ・雇用主名欄は、事業所主や工場長等の使用者の情報でも可能です。
 申請者は、当事業所(団体)の在籍者であり、受検申請時点で雇用保険に加入していることを証明いたします。

事業所 団体名	株岡山技能工作所
雇用主名	技能 一朗

□雇用保険加入確認等のための雇用主証明書における注意事項
 ※次に該当する場合は、雇用保険被保険者としての確認対象となりません。
 1 記入や押印がない場合
 2 個人事業主(一人親方など)又はその同居の親族で、雇用保険被保険者でない方
 3 学生(大学夜間学部や高校定時制などに通い、就労している方を除く)
 4 出入国管理及び難民認定法別表第1の上欄の在留資格をもって在籍する方
 (例) 技能実習生、特定技能、研修、留学等

第1審査	第2審査
受検判定	免除判定
経験年数	年
補正履歴	

⑱ ver.2026.04

記入上の注意点

- 技能検定試験は、働くうえで身につける、又は必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。申請内容に虚偽・不正が発覚した場合、試験の中止、合格の取消しを行うことがありますので、正しく記入してください。
- 受検申請書は、受検者本人が必ず記入してください。
- 文字は楷書、数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入し、略字や俗字は使わないでください。
- 黒のボールペンで正確に記入し、消せるインクのペンや鉛筆等では記入しないでください。
- 受検申請書の記載内容を訂正する場合は、二重線で抹消した上で、余白に正しく記入してください。修正テープや修正ペンの訂正は行わないでください。
- 受検申請書提出後に受検申請書に記載した内容が変更となる場合は、速やかに当協会まで受検申請内容変更届(26ページ)を提出してください。引越し等により受検票や試験問題等が届かないトラブル等が発生しております。
- 受検申請書の記入の際、申請内容が書ききれないときは、適当な補助紙に記入し、添付してください。
- 受検申請受付後は、受検級・受検区分・受検職種及び作業は変更できません。



- ① 記入日 受検申請書を記入した日付を記入してください。
- ② 氏名 本人確認書類と同じ表記で、記入者(受検者)の氏名を記入してください。
- ③ 受検級 受検したい級を○で囲んでください。2級と五輪予選の両方を申請する方は、両方の受検級を○で囲んでください。
- ④ 受検区分 受検しようとする内容を確認し、その区分を○で囲んでください。学科受検で実技を免除する方は **B**、実技受検で学科を免除する方は **C**、学科と実技の両方を免除する方は **D** で必ず申請してください。

⑤ 職種番号・作業番号・職種名・作業名

実施職種一覧表(5・6ページ)を確認し、正確に記入してください。

- ⑥ 選択課題 **フラワー装飾作業**は、希望する課題の記号「A」又は「B」を記入してください。

- ⑦ 氏名 本人確認書類貼付欄に貼付けした書類の氏名欄に記載された氏名を記入してください。旧字体、異体字等で本人確認書類の文字が見えづらい場合は、拡大した文字を付箋等に書き、氏名欄の余白部分等に貼りつけてください。

例 本人確認書類の氏名が 岡山 吉郎 と記載されている場合	適切な例	岡山 吉郎
	不適切な例	岡山 一郎※漢字が異なる

- ⑧ 生年月日 西暦表記の場合は、必ず**和暦に変換**してください。

例 本人確認書類で生年月日が 2005年4月1日生 と記載されている場合	適切な例	H17年4月1日生
	不適切な例	2005年4月1日生

- ⑨ 年齢 受検申請時の年齢を記入してください。

- ⑩ 住所 建物、マンション名、号室まで必ず記入してください。受検者情報に記載された住所へ受検票、実技試験問題、合格通知等の書類を送付します。会社や組合等に転送することはできません。

- ⑪ 日中の連絡先 受検申請書記載内容について、**平日の日中に連絡がとれる情報を記入してください。**また企業、学校、組合等で複数名の受検申請書をまとめて提出される際は、とりまとめを担当した方の情報を技能検定担当者名として記入してください。

⑫ 個人情報の取扱い

関係団体や組合等が技能検定の準備講習会等を開催するにあたって、受検者の情報提供を求められた場合には、**「はい」**を選択された方の情報(氏名、住所、電話番号、所属先名及び連絡先)を提供します。「いいえ」を選択又は「未記入」の方の情報については、関係団体や組合等から求められても、当協会からは**提供しません。**

- 準備講習会等の情報が欲しい場合 → はい
- 準備講習会等の情報が不要又は個人情報を提供したくない場合 → いいえ

※**全作業で準備講習会等が行われるものではありません。**また、当協会より関係団体や組合等へ個人情報を提供しても、案内の送付や開催の判断は、関係団体や組合等毎で独自に判断されるものであり、協会は関与しません。

- ⑬ 減額確認 **23歳未満で3級の实技試験受検手数料の減額を希望する受検者(学生、職業訓練の生徒等も含む)は、「減額を希望する」を○で囲んでください。○で囲んでいない場合は、減額の意思がないものとして取り扱われますのでご注意ください。**併せて雇用保険被保険者は、雇用保険加入確認等のための雇用主証明欄に証明を受けてください。

- ⑭ 受検資格 **受検資格の審査は、受検申請書の受検資格の欄に記載された学歴、職業訓練歴、職歴等について、記載されている範囲内で審査します。**1つの職歴へ記入するだけで受検に必要な実務経験年数を満たす場合は、その他の職歴や学歴、職業訓練歴、技能検定合格等への記入は不要です。**学歴、職業訓練歴、職歴等は、受検する検定職種と関係する内容のみが対象となります。**正社員、契約社員、アルバイト、個人事業主等の雇用形態は問いませんが、**アルバイトやパートタイムは勤務日数や勤務時間が常勤の労働者と同様であれば、実務経験年数として認められます。**また技能実習生は、技能実習内容が検定職種と関係する場合その実習期間が対象となります。個人的な取り組み(趣味等)は**実務経験年数として含むことはできません。**海外の職歴については、日本語表記の職務経歴書を追加で提出してもらうことがあります。

<職務内容として適当な例> 例:自動車部品の機械加工や生産ラインの設計管理、マンション等の防水工事、住宅設備の内装施工、特定技能(業務内容)、金属塗料の営業、機械科教諭等

<職務内容として不適当な例> 例:製造、現場監督、営業、作業員、販売、サービス、技能実習生、特定技能、教育等
<経験年数の計算方法>

複数の企業等での経験年数は合算できます。職歴で書ききれないときは補助紙に記入し、添付してください。在职期間は、受検申請受付期間の最終日現在において所定の実務経験年数(14ページ)に達しているかで判定します。判断基準 (例)実務経験年数だけで2級を受検する場合

(最新)0年9か月+(旧)1年3か月=2年0か月…2年以上なので受検可能/(最新)0年9か月+(旧)1年2か月=1年11か月…2年未満なので**受検不可**

なお、実務経験年数短縮のために、技能検定合格状況や職業訓練歴へ記入する方は、技能検定の合格証書の写しや訓練修了書(訓練コースや訓練時間が記載されていること)の写しを必ず添付してください。**書類の添付がない場合は、実務経験年数は短縮されません。**添付する際は、受検申請書にクリップやホッチキス等で止め、糊付けはしないでください。詳しくは、**よくある質問(18ページ)の受検資格に関するQ&A**もご確認ください。

- ⑮ 試験の免除 試験の免除要件に該当する場合は、免除する内容を正確に記入し、学科試験又は実技試験の合格通知、合格証書等の写しを必ず添付してください。**写しの添付がない場合は免除できません。また、受検申請受付後の免除はできません。**

- ⑯ 本人確認書類貼付欄 ※健康保険被保険者証は、本人確認書類として使用できません。

注意事項を必ず読み、氏名及び生年月日がかかる書類を貼り付けてください。ただし、**氏名、生年月日が不鮮明な場合や文字の一部が欠けている場合は、本人確認書類として使用することができません。**

- ⑰ 学校長証明欄 学生は、学校長の証明により、本人確認書類の貼付を省略することができます。

- ⑱ バージョン 「**ver. 2026. 04**」と表記されている受検申請書のみ使用できます。それ以外の受検申請書は使用できません。 12

19

写真票
学科試験

受験区分が「A甲」「AZ」「B」の方は記入

受験級	受験区分	A甲	AZ	B	
級	受験番号				
職種名					
作業名	作業				
ふりがな					
氏名					
試験当日連絡先	— —				
事業所名 学校名 施設名					
生年月日	S	H	年	月	日生

写真貼付欄

4cm×3cm程度

注意事項

- 1 写真は申請前6か月以内に撮影した無帽・無背景・正面上三分身のもの
- 2 写真の裏面に級、職種又は作業名、氏名を記入すること。
- 3 スナップ写真、インスタント写真、鮮明でない写真は不可
- 4 はがれないように貼り付けること。

確認

試験中

令和 年 月 撮影

写真票
実技試験①

受験区分が「A甲」「A丙」「C」の方は記入

受験級	受験区分	A甲	A丙	C	
級	受験番号				
職種名	機械加工				
作業名	普通旋盤				
ふりがな	おかやま いちろう				
氏名	岡山 太郎				
試験当日連絡先	080-8243-****				
事業所名 学校名 施設名	(株)岡山技能工作所				
生年月日	S	H	16年	4月	1日生



注意事項

- 1 写真は申請前6か月以内に撮影した無帽・無背景・正面上三分身のもの
- 2 写真の裏面に級、職種又は作業名、氏名を記入すること。
- 3 スナップ写真、インスタント写真、鮮明でない写真は不可
- 4 はがれないように貼り付けること。

確認

受付 試験中

令和 8年 4月 撮影

写真票
実技試験②

受験区分が「A甲」「A丙」「C」の方は記入

受験級	受験区分	A甲	A丙	C	
級	受験番号				
職種名					
作業名	作業				
ふりがな					
氏名					
試験当日連絡先	— —				
事業所名 学校名 施設名					
生年月日	S	H	年	月	日生

写真貼付欄

4cm×3cm程度

注意事項

- 1 写真は申請前6か月以内に撮影した無帽・無背景・正面上三分身のもの
- 2 写真の裏面に級、職種又は作業名、氏名を記入すること。
- 3 スナップ写真、インスタント写真、鮮明でない写真は不可
- 4 はがれないように貼り付けること。

確認

受付 試験中

令和 年 月 撮影

実施職種一覧表中、実技試験が2種類以上記載されている場合（製作等作業試験・判断等試験・計画立案等作業試験）は、写真票実技試験②にも記入してください。

20

受験手数料納付申請書

金 9,200 円
内訳 学科試験 0 円
実技試験 9,200 円

※受験手数料は非課税です。

氏名	岡山 太郎				
受験級	3	受験区分	A甲	AZ	A丙
級			B	C	D
職種番号	006	作業番号	010		

特級・1級・2級・準一等級・五輪予選	3 級
学科・実技 両方受検	学科・実技 両方受検
<input type="checkbox"/> 21,300 <input type="checkbox"/> 18,200	<input type="checkbox"/> 21,300 <input type="checkbox"/> 18,200
<input type="checkbox"/> 18,200 <input type="checkbox"/> 15,100	<input type="checkbox"/> 18,200 <input type="checkbox"/> 15,100
<input type="checkbox"/> 16,400 <input type="checkbox"/> 13,300	<input type="checkbox"/> 16,800 <input type="checkbox"/> 13,700
	<input type="checkbox"/> 16,400 <input type="checkbox"/> 13,300
	<input type="checkbox"/> 15,200 <input type="checkbox"/> 12,100
	<input type="checkbox"/> 13,700 <input type="checkbox"/> 10,600
	<input type="checkbox"/> 13,200 <input type="checkbox"/> 10,100
	<input type="checkbox"/> 12,300 <input type="checkbox"/> 9,200
	<input type="checkbox"/> 12,000 <input type="checkbox"/> 8,900
	<input type="checkbox"/> 11,900 <input type="checkbox"/> 8,800
	<input type="checkbox"/> 10,700 <input type="checkbox"/> 7,600
	<input type="checkbox"/> 9,200 <input type="checkbox"/> 6,100
	<input type="checkbox"/> 8,700 <input type="checkbox"/> 5,600
	<input type="checkbox"/> 7,500 <input type="checkbox"/> 4,400
	<input type="checkbox"/> 7,400 <input type="checkbox"/> 4,300
	<input type="checkbox"/> 6,200 <input type="checkbox"/> 3,100
	<input type="checkbox"/> 6,000 <input type="checkbox"/> 2,900
	<input type="checkbox"/> 3,100 <input type="checkbox"/> 0

※協会使用欄（灰色部分）には何も記入しないこと。

21

提出前の最終チェックリスト

- 受験申請書の必要事項
- 免除資格がある場合は、
- 本人確認書類を正しく
- 減額対象者のうち、雇用加入確認等のための雇
- 写真票に写真を正しく
- 振込金額は正しいです
- 振込先口座は正しいで
- 複数名の受験手数料をその裏面に振込確認書

申請が岡山県

22

振込確認

振込日、振込人名、振込金額、振込先インターネットバンキングやアプリください。確認書類の写しが、振込確認書類にならないように提出してください。過誤納金については、受験申請受付

申請時点で過誤納金が判明している場合は、返金口座情報をご入力ください。

銀行名	支店名	口座種別
返金口座	フリガナ	口座名義
口座番号		

ご利用明細書

お取り扱い日	店番	お取引内容
00-00-00	*****	通帳送金
記号	番号	
*****	*****	
取扱番号	お取引金額	
****	*00,000 円	
	残高	

呆除

30

し、

06

受験書、

の付けて

から外れ

19 写真票

受験する内容(学科試験、実技試験)ごとに記入してください。6か月以内に撮影した写真を貼り付けてください。写真サイズは、縦4cm×横3cm程度とし、プリンター等で印刷する場合は、写真用紙に印刷してください。実施職種一覧表(5・6ページ)で実技試験が製作等作業試験・判断等試験・計画立案等作業試験のうち2種類以上が記載されている場合は、「実技試験①」・「実技試験②」のどちらも記入が必要となります(4ページ参照)。受験区分をD申請(学科免除及び実技免除)される方は、写真票の提出は不要です。

20 受験手数料納付申請書

金額は、受験手数料の額(7ページ)を確認して記入してください。また、氏名、受験級、受験区分、職種番号、作業番号を記入してください。

21 提出前のチェックリスト

受験申請書提出前にチェックリストに沿って最終確認を行ってください。

22 振込確認書類貼付欄

振込日、振込人名、振込金額、振込先が分かる書類を必ず貼り付けてください。なお、複数名の受験者分をまとめて振り込む場合は、一括納付内訳書(25ページ)を提出し、振込確認書類の写しを振込確認書類貼付欄に貼付してください。過誤納金判明している場合は、返金口座情報を記入してください。

8 受検・免除資格等に関する資料

別表1 受検資格一覧表

次表のとおり、受検対象者区分ごとに級別の年数経過後に受検資格が得られます。

実務経験年数とは、令和8年4月17日(受検申請受付期間最終日)現在での検定職種に関する実務経験年数になります。

また、1級合格後、2級合格後及び3級合格後とは、合格年月日が起算日となります。

受検対象者(※1)		特級	1級			2級(※6)		3級(※6)	単一等級			
		1級合格後	2級合格後	3級合格後	3級合格後							
実務経験のみ		5年	7年	2年	4年	2年	0年	0年(※7)	3年			
専門高校卒業後(※2) 専修学校(大学入学資格付与課程に限る。)卒業後			6年			0年		0年	1年			
短大・高専・高校専攻科卒業後(※2) 専門職大学前期課程修了後 専修学校(大学編入資格付与課程に限る。)卒業後			5年			0年		0年	0年			
大学卒業後(専門職大学前期課程修了者を除く。)(※2) 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る。)卒業後			4年			0年		0年	0年			
専修学校(※3)又は各種学校卒業後 (厚生労働大臣が指定したものに限る。)	800時間以上		6年			0年		0年	0年(※8)	1年		
	1600時間以上		5年			0年		0年	0年(※8)	1年		
	3200時間以上		4年			0年		0年	0年(※8)	0年		
短期課程の普通職業訓練修了後(※4 ※9)	700時間以上		6年			0年		0年	0年(※5)	1年		
普通課程の普通職業訓練修了後(※4 ※9)	2800時間未満		5年			0年		0年	0年	1年		
	2800時間以上		4年			0年		0年	0年	0年		
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了後(※4 ※9)			3年			1年		2年	0年	0年	0年	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了後(※9)			1年			0年		0年	0年	0年		
指導員養成課程の指導員養成訓練修了後(※9)			1年			0年		0年	0年	0年		
職業訓練指導員免許取得後		1年			—	—	—	0年				
高度養成課程の指導員養成訓練修了後(※9)		0年			0年	0年	0年	0年				

※1 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。

※2 学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者並びに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※3 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※4 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※5 総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※6 3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。また、工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定されたものも受検できる。なお、この場合は「3級の技能検定の受検資格付与に係る確認書」の提出が必要です。

※7 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※8 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

※9 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与する。

別表2 検定職種に関する学科・指導員免許職種一覧表

検定職種	実務経験年数が短縮される卒業学科	学科試験が免除される指導員免許職種
園芸装飾	園芸科、フラワーデザイン科、ガーデニング科	園芸科
造園	造園科	造園科、森林環境保全科
鑄造	や金科、金属工学科、機械科	鑄造科
金属熱処理	や金科、金属工学科、機械科	熱処理科
粉末冶金	や金科、金属工学科、機械科	鑄造科
機械加工	機械科	機械科
非接触除去加工	機械科	機械科
金属プレス加工	機械科	塑性加工科
鉄工	金属工学科、機械科、造船科、建築科、土木科	塑性加工科、構造物鉄工科、鉄道車両科、造船科
建築板金	機械科、建築科	塑性加工科、建築板金科
工場板金	機械科	塑性加工科
めっき	金属工学科、工業化学科、化学工学科	金属表面処理科
仕上げ	機械科	機械科
機械検査	機械科	機械科
ダイカスト	や金科、金属工学科、機械科	鑄造科
電子機器組立て	電子科、電気科	電子科
電気機器組立て	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
シーケンス制御	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
建設機械整備	機械科	建設機械科
婦人子供服製造	被服科、服装科、洋裁科	洋裁科
家具製作	工芸科	木工科
建具製作	建築科、工芸科	木工科
印刷	印刷科	製版・印刷科
プラスチック成形	機械科、電気科、工業化学科	プラスチック製品科
建築大工	建築科、大工科	建築科、枠組壁建築科
とび	建築科	とび科
左官	建築科	左官・タイル科
築炉	建築科	築炉科
ブロック建築	建築科	ブロック建築科
タイル張り	建築科	左官・タイル科
畳製作	(該当なし)	畳科
防水施工	建築科	防水科
内装仕上げ施工	建築科	床仕上げ科、インテリア科
熱絶縁施工	設備科、造船科、工業化学科、化学工学科、建築科	熱絶縁科
サッシ施工	建築科	建築科、サッシ・ガラス施工科
化学分析	工業化学科、化学工学科、農芸化学科	化学分析科、公害検査科
表装	工芸科	インテリア科、表具科
塗装	建築科、工芸科、塗装科	塗装科
舞台機構調整	電子科、電気科、音響芸術科	(該当なし)
フラワー装飾	園芸科、フラワーデザイン科、フラワービジネス科	フラワー装飾科
塗料調色	塗装科	塗装科
産業洗浄	機械科、工業化学科、土木科、金属工学科	(該当なし)

※原則として、掲載以外の卒業学科については、実務経験年数短縮及び学科試験免除の対象にはなりません。
 ※科の統廃合や科名の変更により判断ができない場合は、当協会へお問い合わせください。

別表3 免除資格一覧表

実技試験・学科試験の免除を受けようとする方は、申請書に免除資格を証明できる写しを必ず添付してください。
 なお、試験の免除資格があることが受検申請受理後に判明しても、試験の免除は受けられません。

技能検定関係(同一の検定職種に限る。)

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部					※1
	学科試験のみ合格	学科の全部					※1
1 級	技能検定に合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
2 級	技能検定に合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
3 級	技能検定に合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※2
単一等級	技能検定に合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※2

※1 実技試験又は学科試験に合格した日から5年間[当該合格した実技試験が行われた日の翌日から起算して5年を経過した日の属する年の翌年(その日が1月1日から3月31日までの間である場合は、その日の属する年)の3月31日]まで有効

※2 選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

職業能力開発行政関係(検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。)

対象者			技能検定試験の免除の範囲					備考	
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級		
指導員試験合格又は指導員免許取得			学科の全部						
技能士証	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	5年	学科の全部					※3
			2年	学科の全部					※3
				学科の全部					※3
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後実務経験年数	4年	学科の全部					※3
			1年	学科の全部					※3
				学科の全部					※3
	普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年(2800時間以上は1年)の実務経験		学科の全部					※3
				学科の全部					※3
				学科の全部					※3
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1級技能士コース		学科の全部					※3	
	2級技能士コース		学科の全部					※3	
	単一等級技能士コース		学科の全部					※3	
中央技能検定委員2年以上			実技の全部及び学科の全部					※1	
都道府県技能検定委員2年以上			実技の全部					※1	
技能証	技能五輪全国大会における技能証		実技の全部		実技の全部				
	技能五輪地方大会における技能証		実技の全部					※2	
	全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証		実技の全部					※2
		学科部門の技能証		学科の全部					※2

※1 選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

※2 平成16年10月21日が有効期限内である技能証は、その有効期限を過ぎたものであっても有効(H16厚労告376附則第2項及び第3項)

※3 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練過程に応じて、試験を免除する。

他法令等関係

対象者	技能検定試験の免除の範囲					備考
	特級	1級	2級	3級	単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者		菓子製造職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般				
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者		建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者		建築大工職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1級の技能検定	和裁職種に係る実技試験の全部				
	2級の技能検定		和裁職種に係る実技試験の全部			

免除資格及び受検申請にあたっての特例

(1) 2以上の作業を有する検定職種にあっては、2以上の作業に共通する学科試験を実施しているものがあります。この場合、いずれか1つの作業の学科試験に合格している者が、他の作業の実技試験を受検する際には、当該作業の学科試験の免除を申請することができます。次の表において、「学科試験共通作業」の同じ枠内にあるものは、学科試験問題が共通です。

検定職種	学科試験共通作業
機械加工※	普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、立旋盤作業
	フライス盤作業、数値制御フライス盤作業
	平面研削盤作業、数値制御平面研削盤作業、円筒研削盤作業、数値制御円筒研削盤作業 心無し研削盤作業
ダイカスト	ホットチャンバダイカスト作業、コールドチャンバダイカスト作業
婦人子供服製造	婦人子供既製服パターンメイキング作業、婦人子供既製服縫製作業
鉄筋施工	鉄筋施工図作成作業、鉄筋組立て作業
機械・プラント製図	機械製図手書き作業、機械製図CAD作業

※平成19年度以前に「数値制御旋盤作業」、「数値制御フライス盤作業」、「数値制御ボール盤作業」、「マシニングセンタ作業」のいずれかの学科試験に合格している場合は、当該4作業のすべての学科試験が免除の対象となります。

(2) 2以上の作業を有する検定職種にあって、2以上の作業に共通する学科試験を実施しているもの(免除資格の特例に示すもの)があります。既に実技試験に合格している方が学科試験を受検する場合、受検しようとする作業が当該期の実施作業に掲げられていないものであっても、共通の学科試験が行われている作業のうち、いずれかの作業が実施作業となっていれば、受検しようとする作業は受検できます。この場合、受検申請書には、実施公示している作業名ではなく、受検しようとする作業名を記入してください。

シーケンス制御職種の受検資格等の取扱いについて

令和5年度(前期)から「シーケンス制御職種」が新設され、「電気機器組立て職種(シーケンス制御作業)」は、「電気機器組立て職種」から分離独立し、「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」として新たに設置されました。

このことから、「電気機器組立て職種(シーケンス制御作業)」の合格者が、「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」を受検する際は、職種が異なるため下記の経過措置にご注意ください。

- 特級の「電気機器組立て職種」の実技試験又は学科試験の一部に合格した方は、「シーケンス制御職種」の受検において、職種が異なるため一部免除は認められません。
- 1・2・3級(特級は除く)の「電気機器組立て職種(シーケンス制御作業)」で実技試験又は学科試験の一部に合格した方は、同一級の「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」の一部合格とみなされ、合格している方の試験が免除となります。
- 下位級の「電気機器組立て職種(シーケンス制御作業)」の合格者が、上位級の「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」の受検に際し、下位級の合格を要件とした実務経験年数の短縮を希望する場合は、職種が異なるため実務経験年数の短縮は認められません。実務経験年数の短縮については、「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」の合格が必要となり、「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」の合格を得るには、D申請(学科・実技試験免除)を行う必要があります。ただし、「シーケンス制御職種」に関する実務経験は、令和4年度以前からも通算することができますので、実務経験年数を満たしていれば、下位級合格に関係なく「シーケンス制御職種(シーケンス制御作業)」の受検が可能であり、「D申請」も不要です。

9 よくある質問

受検申請全般に関するQ&A

Q1 受検申請は、岡山県内に居住している者に限られますか。

A1 誰でも受検申請はできます。ただし、受検者の住所、勤務先等の所在地が岡山県内の方の受検申請を優先しますので、県外の方の受入れができない場合があります。このため、県外の方は受検申請される前に、必ず当協会へお問い合わせください。なお、先着が設定された作業の受検においては、県外の方は受検申請をご遠慮ください。

Q2 複数作業を受検申請することは可能でしょうか。

A2 受検申請は原則1人1作業についてのみのみ可能です。2つ以上の作業で受検申請を行った場合は、試験日や試験時間が重複する可能性があります。試験日時等が重複した場合でも、試験日時の調整及び受検手数料の還付はできません。

Q3 試験日及び試験会場は決まっていますか。

A3 全国統一実施日(学科試験及び一部の実技試験)以外は、試験日は未定です。受検者からの試験日、試験会場の希望は受付いたしかねます。受検票が届き次第、速やかに試験日や試験会場等をご確認ください。

Q4 受検申請書の到着確認をしてもらえますか。

A4 受検申請書の到着確認には対応しておりません。郵便局が発行する追跡番号により各自でご確認ください。

Q5 受検申請書提出後に級や作業、受検区分を変更できますか。

A5 受検申請受理後の変更はできません。

Q6 受検申請書の記載を誤ってしまいました。どうしたらよいですか。

A6 誤った部分を二重線で抹消した上で、余白部分に正しく記入してください。

Q7 受検申請者名の表記が、本人確認書類の表記と異なる場合(例 外字など)は、どうしたらよいですか。

A7 本人確認書類の表記が正しいものとして取り扱います。

Q8 本人確認書類の名義が、2種類(ローマ字と漢字等)表記の場合は、表記はどうなりますか。

A8 氏名が2種類以上で表記されている場合は、氏名表記はローマ字で統一します。

氏名	GINOU OKAYAMA TARO (技能太郎)
----	---------------------------

受検資格に関するQ&A

Q1 実務経験年数はどのようなものですか。また、どのように判断するのですか。

A1 検定職種に関する実務の経験とは、検定職種ごとの主要な技能の内容をおおむね包含する実務(管理監督、訓練、教育及び研究に関する業務を含む。)の経験及び入職後に当該検定職種に関する訓練又は教育を受けた経験のことをさします。

Q2 実務経験年数はどのように判断するのですか。

A2 学歴、訓練歴、職歴等については、原則として、申請書に記載された情報の範囲で審査を行います。ただし、必要に応じて、所属事業所等への電話照会や、卒業証書(卒業証明書)、修了証書(修了証明書)、従事歴証明(事業者又は同僚による証明書)等の写しによる追加審査を行うこともあります。

Q3 実務経験年数について知りたい。

A3 受検する作業に係る実務経験年数の有無が受検可否の判断基準となります。詳細が不明な場合は、当協会までお問い合わせください。例 普通旋盤作業 1級を受検する場合

●実務経験年数のみ → 受検申請時点で実務経験年数7年が必要(転職等の場合は、過去の関係のある実務経験年数がある場合は通算することができます)

例 機械加工に係る職歴7年、A社(機械加工)3年+独立(機械加工)4年の場合 → 有効

事務等の関係のない職歴7年、事務3年+機械加工に係る職歴4年の場合 → 無効

Q4 実務経験年数が0年の場合は、実務経験年数がなくても受検可能なのでしょうか。

A4 実務経験年数が0年となっている場合、原則として実務経験は不要です。ただし、学歴・訓練歴等がなく、3級を直接受検する場合には、1日以上の実務経験が必要となります。

Q5 3級の実務経験年数が0年の場合は、学生や職業訓練中の者でも受けられるようだが、誰でも受検可能なのでしょうか。

A5 受検する作業に関係する学科等に在籍、また訓練していることが受検可否の判断基準となります。受検作業に関係のない学科に在籍又は訓練を受けている方が受検できるものではありません。ただし、3級の技能検定の受検資格付与に係る確認書が提出される場合は除きます。

Q6 技能検定の下位級に合格した場合は、すぐ上位級を受検できるのでしょうか。

A6 受検の等級によって異なります。なお、年数経過については、受検した年ではなく、合格年月日から起算しますのでご注意ください。例 令和7年度前期、機械加工・普通旋盤作業、3級に合格した場合（合格年月日：令和7年8月29日）

受検級	必要な経験年数	受検可能時期
2級を受検する場合	0年	令和7年8月30日以降より2級の受検申請が可能
1級を受検する場合	4年	令和11年8月30日以降より1級の受検申請が可能

Q7 学歴により実務経験年数が短縮されるのは、どのような場合ですか。

A7 学歴において本来必要とされる実務経験年数の短縮を図る場合は、次の基準で判断します。詳細が不明な場合は、当協会までお問い合わせください。（例 機械加工 普通旋盤作業を受検する場合）

●専門高校（工業高校、商業高校、農業高校など）卒業後を適用する場合

例 高等学校の機械科卒業 ※検定職種に関する学科(P15参照) → 短縮可（職歴6年）
高等学校の商業科卒業 → 短縮対象外

●専修学校（大学入学資格付与課程に限る。）卒業後を適用する場合

例 専門学校の機械コース卒業（例 修業年限2年以上で大学入学資格付与課程あり） → 短縮可（職歴6年）
専門学校の機械コース卒業（例 修業年限1年で大学入学資格付与課程なし） → 短縮対象外

※専修学校とは、①高等課程（例：調理士学校）②専門課程（例：専門学校）③一般課程（例：語学や資格取得学校）があります。

●大学卒業後（専門職大学前期課程修了者を除く）を適用する場合

例 大学の工学部（専攻：機械系コース）卒業 → 短縮可（職歴4年）
大学の工学部（専攻：システム、電気、電子、化学、サイエンスコース等）卒業 → 短縮対象外

Q8 職業訓練歴により実務経験年数が短縮されるのは、どのような場合ですか。

A8 受検・免除資格等に関する資料(P14)において、職業訓練歴において本来必要とされる経験年数の短縮を図る場合は、つぎの判断基準となります。なお、訓練時間については、訓練時間が記載されていることがわかる書類（例：修了証書等）を提出してください。詳細が不明な場合は、当協会までお問い合わせください。（例 機械加工 普通旋盤作業を受検する場合）

例 普通旋盤作業 1級を受検する場合

●専修学校又は各種学校（厚生労働大臣が指定したものに限る。）卒業後を適用する場合

例 専門学校の機械コースが厚生労働大臣の認定を受けている場合 → 短縮可（6年）
専門学校の機械コースが厚生労働大臣の認定を受けていない場合 → 短縮対象外

※厚生労働大臣の認定を受けているかは、受検申請者にて学校等へお問い合わせください。



認定要件

●短期課程（6か月以下）の普通職業訓練修了後を適用する場合

例 職業訓練校の機械コースにおける訓練時間が700時間未満の場合 → 短縮対象外
職業訓練校の機械コースにおける訓練時間が700時間以上の場合 → 短縮可（6年）

●普通課程（1年又は2年）の普通職業訓練修了後を適用する場合

例 職業訓練校の機械コースにおける訓練時間が1400時間（1年）の場合 → 短縮可（5年）
職業訓練校の機械コースにおける訓練時間が2800時間（2年）の場合 → 短縮可（4年）

なお、専修学校とは①高等課程（例 調理士学校）②専門課程（例 専門学校）③一般課程（例 語学や資格取得学校）となります。

Q9 高度職業訓練修了により実務経験年数が短縮されるのは、どのような場合ですか。

A9 高度職業訓練の専門課程又は応用課程のいずれかに修了していることが必須となります。課程によって短縮期間が異なりますので、職業訓練の種類、訓練科名、訓練科の名称が記載されていることが分かる書類（例：修了証書等）を提出してください。詳細が不明な場合は、当協会までお問い合わせください。

例 専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了後 → 短縮可（3年）
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了後 → 短縮可（1年）

免除に関するQ&A

- Q1 学科試験又は実技試験の合格通知の有効期限はありますか。
- A1 1級・2級・3級・単一等級は、制度が変更にならない限り学科試験又は実技試験の合格通知の有効期限はありません。ただし、特級に限り、合格日から5年間の有効期限があります。
- Q2 受検申請書提出後に免除資格があることが分かりました。追加で免除になりますか。
- A2 受検申請受理後に免除の追加はできません。
- Q3 過去に学科試験又は実技試験のいずれかに合格していますが、受検申請書に免除項目を記入するだけで、根拠書類を添付できない場合でも免除できますか。
- A3 受検申請書への記入だけで、免除書類を添付していない場合は、免除できません。ただし、合格通知の再発行等の手続きを既に行っており、再発行のタイミングで受検申請受付期間に添付できない場合に限っては、その経緯を申請書に必ず付記し、再発行後速やかに免除書類を提出することを条件に申請することができます。
- Q4 実技試験(又は学科試験)に過去に合格し、学科試験(又は実技試験)も免除になっているのですが、技能検定に合格するためにはどのような手続が必要ですか。
- A4 学科試験、実技試験ともに免除を受けることができる方(受検区分がD群申請)が技能検定に合格するためには、改めて技能検定受検申請の手続が必要です。
- Q5 合格証書を紛失しました。再交付は、どのような手続が必要ですか。
- A5 合格証明書、合格証書再交付の手続については、岡山県産業労働部労働雇用政策課へお問い合わせください。
岡山県産業労働部労働雇用政策課(086-226-7387)
URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-24490.html>
- Q6 学科試験又は実技試験における合格通知を紛失しました。再発行は、どのような手続が必要ですか。
- A6 岡山県で学科試験又は実技試験において合格された方の再発行は、当協会ホームページに掲載している学科試験又は実技試験合格通知再発行申請書にてお申し込みください。岡山県以外で受検された方は、受検申請した都道府県協会へ直接お問い合わせください。なお、受検申請受付期間中の再発行は対応いたしかねます。また、学科試験又は実技試験における合格通知の再発行を希望する場合は、必ず**受検申請受付期間前に再発行の手続き**を行い、申請準備をしてください。



受検手数料に関するQ&A

- Q1 試験をキャンセル又は欠席した場合は、受検手数料は還付されますか。
- A1 受検申請受理後、**受検者の都合(仕事、学校行事、慶弔、体調不良等)**によるキャンセルや欠席の場合は、いかなる理由でも**受検手数料は還付しません**。また、次期・翌年への振替対応もできません。ただし、主催者側の都合により、試験を中止した場合は、県条例に基づき、受検手数料は還付されます。なお、提出された書類等(例:受検申請書、免除書類、振込書類)については、返却できません。
- Q2 受検手数料は課税対象ですか。
- A2 受検手数料は**非課税**です。振込手数料は課税対象となります。
- Q3 受検申請手続において、請求書や領収書は発行可能ですか。
- A3 **請求書及び領収書は発行しません**。なお、銀行等が発行する振込確認書類等を領収書に代えさせていただきます。
- Q4 技能検定受検手数料のインボイス制度における取扱いについて
- A4 課税されない取引であるため、**仕入税額控除の対象外**となります。
- Q5 受検申請書を提出する際に、金融機関等の都合で振込日が申請日と異なりますが大丈夫でしょうか。
- A5 受検申請書を提出する際に振込確認書類を必ず提出していただきますが、振込日が受検申請受付期間より前となるのは問題ありません。振込日が金融機関の手続き上、申請日以降となる場合は、振込日が受検申請受付期間内であれば問題ありません。ただし、**受検申請受付期間後の振込となる場合は、受検申請を受付できません**。
- Q6 受検手数料の振込は本人名義でないといけませんか。
- A6 振込人名は本人名義以外でも問題ありません。ただし、複数名の受検手数料をまとめて振り込む際は、必ず一括納付内訳書を受検申請書とあわせてご提出ください。

Q7 3級の実技試験を受検する場合で減額対象となる場合を教えてください。

A7 受検手数料の額(7ページ)のフローチャートを参照してください。

Q8 3級受検において、実技試験の減額対象外となる、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第1の上欄の在留資格とはなんのでしょうか？

A8 減額対象外となる在留資格は、次の通りとなります。

別表第一	在留資格
一	外交、公用、教授、芸術、宗教、報道
二	高度専門職、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、介護、興行、技能、特定技能、技能実習
三	文化活動、短期滞在
四	留学、研修、家族滞在
五	特定活動

学科試験や実技試験に関するQ&A

Q1 学科試験で筆記用具等を、実技試験で道具や試験問題等を忘れた場合は、試験会場で貸出可能ですか。

A1 貸出しは、一切行いません。試験開始前までに受検者にてご用意ください。

Q2 受検票を紛失しました。再発行は可能でしょうか。

A2 再発行はできません。受検票を紛失した方は、試験当日に顔写真のついた本人確認書類(免許証等)を提示し、係員の確認を受けた後に受検してください。

Q3 実技試験問題を紛失しました。再発行は可能でしょうか。

A3 再発行はできません。実技試験問題の内容を確認したい場合は、受検者の方が、直接協会にお越しく下さい。なお、公開した実技試験問題の内容を転載、複製することはできません。平日の8時30分から17時まで(12時から13時を除く)は対応可能です。

Q4 学科試験又は実技試験の勉強会、講習会等は貴協会で開催していますか。

A4 当協会は試験実施機関であるため技能検定の準備講習会等は一切開催しておりません。ただし、業界団体や職業訓練校等が講習会等を計画するにあたり、当協会に受検者情報の提供依頼があった場合は、受検申請書で個人情報の取扱いで提供を「はい」と記載した受検者の情報(氏名、住所、電話番号、所属先)のみ提供することがあります。「いいえ」・「未記入」の方の受検者情報は提供しません。

Q5 発熱や咳があり体調が良くないのですが、受検できますか。

A5 体調不良の方は、受検をお控えください。また、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に罹患し療養期間中の場合は、受検できません。受検の自粛をお願いします。なお、欠席連絡は不要です。

Q6 マスクの着用は自由ですか。

A6 マスクの着用は、原則個人の判断となります。ただし、技能検定委員が、他の受検者等への二次感染の恐れがあると判断した場合は、マスクの着用を別途指示することがあります。

Q7 技能検定試験中、機材や設備を破損してしまいました。

A7 技能検定試験では、主催者の賠償責任等の補償保険に加入しておりますが、補償適用の範囲や条件等については、個別に判断させていただきます。

結果に関するQ&A

Q1 試験の合否ラインを教えてください。

A1 実技試験は100点を満点として原則として60点以上、学科試験は各職種(作業)の問題数の65%以上です。

Q2 試験結果はどこから通知されますか。

A2 技能検定に合格した場合の合格証書は岡山県庁から、学科試験又は実技試験のいずれかに合格した方への合格通知については当協会から通知します。

Q3 不合格の場合は通知がありますか。

A3 不合格の方への通知はありません。

Q4 合格発表日は何が発表されますか。

A4 合格発表日は、岡山県のホームページに学科試験及び実技試験の両方に合格された方の受検番号が掲載されます。当協会ホームページからリンクも掲載予定です。なお、学科試験又は実技試験のいずれかに合格した方、不合格の方の受検番号は掲載されません。また、試験の結果(作品の評価、採点や減点の箇所、採点の方法)等については、一切お答えできません。

Q5 実技試験における作品の評価、採点や減点の箇所、採点の方法等について教えてください。

A5 試験の結果(作品の評価、採点や減点の箇所、採点の方法)等については、一切お答えできません。

その他Q&A

Q1 過去の試験問題の閲覧は、どうすればいいでしょうか。

A1 中央職業能力開発協会が運営している技能検定試験問題公開サイトにて、複数年度の学科試験問題及び実技試験問題が公開されています。

中央職業能力開発協会 技能検定試験問題公開サイト

URL:<https://www.kentei.javada.or.jp/>



Q2 過去の試験問題を印刷したい場合は、どうすればいいでしょうか。

A2 技能検定試験問題公開サイトは閲覧のみとなっており、印刷することができません。印刷物の配布を希望する方は、当協会のHPに掲載している[技能検定試験問題コピーサービス利用規約](#)に同意の上で、技能検定試験問題コピーサービスをご利用ください。

Q3 技能検定試験問題コピーサービスはどういったものなのでしょうか。

A3 岡山県で技能検定試験を受検予定の個人、法人、団体または組合の方を対象に、技能検定試験問題公開サイトに掲載されている直近の技能検定試験問題(学科試験および実技試験)のコピーを、無料で提供するサービスです。申込みは月1回までとし、提供数量は学科試験および実技試験それぞれ1部を上限とします。なお、受検申請期間中は対応ができません。試験問題は申込者宛にヤマト宅急便(着払い)にて送付します。発送までに約1週間程度を要し、当協会での窓口配布は行っておりません。

Q4 試験問題は、複数年度分入手できますか。

A4 技能検定試験問題コピーサービス利用規約に記載しておりますが、技能検定試験問題公開サイトに掲載されている直近の試験問題を提供します。直近以外の試験問題は配布できません。

【提供例】

令和7年度前期に実施、令和7年度後期に実施している場合 ➡ 令和7年度後期の試験問題を提供

令和6年度前期に実施、令和7年度前期に実施している場合 ➡ 令和7年度前期の試験問題を提供

令和6年度前期に実施、令和7年度前期は休止している場合 ➡ 令和6年度前期の試験問題を提供

Q5 技能検定試験問題の複製は可能でしょうか。

A5 技能検定試験問題等は、中央職業能力開発協会の許可なく複製、二次使用等することを禁止されています。技能検定試験問題を利用してテキスト等の刊行物として発行する場合は、中央職業能力開発協会の許諾を得る必要があります。中央職業能力開発協会著作物の著作権等使用に係る許諾については、中央職業能力開発協会のHPをご覧ください。

Q6 試験問題参考書の購入は、どうすればいいでしょうか。

A6 当協会では書籍の販売はしておりません。購入希望の方は出版元へ直接お問い合わせください。

技能検定 **特級**及び**3級**に関する書籍

出版社:中央職業能力開発協会図書センター

TEL:03-3603-8373

URL:<http://excell001.shop23.makeshop.jp/index.html>

技能検定 **1級**及び**2級**に関する書籍

出版社:雇用問題研究会

TEL:03-5651-7071

URL:<https://www.koyoerc.or.jp/publication/272.html>



10 技能五輪全国大会岡山県予選会参加案内

技能五輪全国大会は、「国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図る」ことを目的としています。

今回2級の技能検定実技試験を受検し、参加資格のある方のうち、優秀な成績を収めた方は岡山県代表選手として全国大会に推薦します。

なお、職種ごとに出場定員枠を設けておりますので、出場を検討される方は、当協会まで事前にお問い合わせください。

また、過去の技能五輪全国大会において入賞された方が、第64回技能五輪全国大会への出場を希望される場合も、岡山県予選会への参加が必須となります。

●第64回技能五輪全国大会概要

日程:令和8年(2026年)12月4日(金)から12月7日(月)までの4日間

会場:愛知県国際展示場(愛知県常滑市セントレア5-10-1)ほか

主催:厚生労働省等

●技能五輪全国大会参加資格

技能五輪全国大会の参加資格は、次のいずれにも該当する方であること。

(1)平成15年(2003年)1月1日以降に生まれた者(満23歳以下)

(2)県内に在住又は県内に所在する事業所に勤務する方で、事業主又は所属学校長等の推薦があるもの

(3)競技職種の技能検定2級実技課題において優秀な成績を収めた方

●岡山県予選会競技職種(予定)及び参加手数料(予定)

予選を実施する職種は次のとおりです。参加手数料は受検手数料の額(7ページ)をご覧ください。参加手数料は、技能検定実技試験2級の受検手数料と同じです。

競技職種名	対応する検定職種(作業)名	備考欄
機械組立て	仕上げ(機械組立仕上げ作業)	
旋盤	機械加工(普通旋盤作業)	※二次選考会あり
フライス盤	機械加工(フライス盤作業)	
構造物鉄工	鉄工(構造物鉄工作業)	
タイル張り	タイル張り(タイル張り作業)	
曲げ板金	工場板金(曲げ板金作業)	
電子機器組立て	電子機器組立て(電子機器組立て作業)	※二次選考会あり
工場電気設備	電気機器組立て(配電盤・制御盤組立て作業)	
左官	左官(左官作業)	
家具	家具製作(家具手加工作業)	
建具	建具製作(木製建具手加工作業)	
フラワー装飾	フラワー装飾(フラワー装飾作業)	
洋裁	婦人子供服製造(婦人子供注文服製作作業)	
とび	とび(とび作業)	

※技能五輪岡山県予選会に併せて技能検定の学科試験を受検する方は、別途、学科試験の受検手数料(3,100円)が必要になります。

●岡山県予選会参加申込み方法

(1)提出書類、受付期間、提出先等は、技能検定の受検申請と同じです。参加を検討している方は、当協会まで事前にお問い合わせください。

(2)技能五輪全国大会参加資格(1)及び(2)に該当している方は、職歴及び実務経験年数に関係なく参加申込みができます。その場合は、受検申請書の申請等級は、「五輪予選」を選択してください。

(3)技能検定受検資格がある方は、五輪予選に併せて技能検定2級を受検することができます。その場合は、受検申請書の申請等級は、「2級」及び「五輪予選」の両方を選択してください。

●岡山県予選会競技問題

技能検定2級の実技試験の問題と同一です。

●岡山県予選会実施期間

令和8年6月10日(水)～6月26日(金)までの間で当協会が指定する日時及び場所で実施します。

●特典

一定の基準以上の成績を収めた方には技能証が交付されます。技能証が交付された方は、同一検定職種2級を受検する際に申請により実技試験が免除されます。

●岡山県における技能五輪全国大会への出場履歴

大会名(開催年)	開催地	出場者数	成績
第63回(2025年)	愛知県	15名(8職種)	金賞2、銀賞2、銅賞4、敢闘賞3
第62回(2024年)	愛知県	13名(7職種)	金賞2、銀賞2、銅賞2、敢闘賞3
第61回(2023年)	愛知県	16名(7職種)	金賞2、銀賞3、銅賞1、敢闘賞2
第60回(2022年)	千葉県	10名(5職種)	金賞1、銅賞1、敢闘賞2
第59回(2021年)	東京都	10名(5職種)	銀賞2、銅賞1、敢闘賞2

11 技能検定実施計画書

「事業所で実施可能な条件」(8ページ)について了承しましたので、以下の内容で実技試験を計画します。

企業・団体名 :
 担当者部署名 :
 担当者氏名 :
 担当者連絡先 :

職 種 名		作 業 名	
試 験 会 場 名 又 は 受 入 先			
試 験 会 場 住 所 又 は 受 入 先 住 所			
試 験 予 定 日	月 日 ()	受 検 者 総 数	全 名
関 係 者 集 合 時 間		休 憩 取 得 予 定	<input type="checkbox"/> あり 時 ~ 時 <input type="checkbox"/> なし
技 能 検 定 委 員 委 員 推 薦 予 定 人 数	名	技 能 検 定 補 佐 員 推 薦 予 定 人 数	名

実技試験実施計画(予定)

No	受検者氏名	受検級	説明開始	開始時刻	終了時刻	練習時間	備考
例	岡山 吉郎	2 級	9時00分	9時 15分	12時 45分	有・無	なし
1		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
2		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
3		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
4		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
5		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
6		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
7		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
8		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
9		級	時 分	時 分	時 分	有・無	
10		級	時 分	時 分	時 分	有・無	

※事業所実施対象作業の受検申請する場合は、必ず作業、試験会場及び試験日毎に計画書を作成してください。

提出が確認できない場合は、受検申請書は受理できません。なお、複写は可能です。

※実技試験の標準時間、打ち切り時間は、実技試験の概要(当協会 HP に掲載)から確認できます。必ず最新の情報でご確認ください。

※終了予定時刻は、打ち切り時間で算定してください。級によって異なりますので、ご注意ください。

※打ち切り時間は、技能検定試験問題公開サイトに掲載されている直近の試験問題を参考にしてください。

提出方法

FAX 086-234-1806
 メール info@okayama-syokunou.or.jp

※協会使用欄

担当者	外部受入	備考欄
	可・否	

12 一括納付内訳書

受検申請書提出の際に、複数名の受検手数料を一括振込される場合は、必ず一括納付内訳書を添付してください。

事業所(団体)名		担当部署 担当者氏名	
振込年月日	令和 年 月 日	電話番号	
振込人名(カナ)		FAX番号	
受検申請書提出枚数	全 枚	一括納付内訳書提出枚数	全 枚

No	受検者氏名	受検級	作業名	受検手数料	内 訳		
					学科試験	実技試験	
記入例	岡山 彦郎	3 級	数値制御旋盤 作業	9,200円	0円	9,200円	3級減額要件 <input checked="" type="checkbox"/> 23歳未満 <input checked="" type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
1		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
2		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
3		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
4		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
5		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
6		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
7		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
8		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
9		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
10		級	作業	円	円	円	3級減額要件 <input type="checkbox"/> 23歳未満 <input type="checkbox"/> 雇用保険被保険者 <input type="checkbox"/> 在校生 <input type="checkbox"/> 高校生
振込金合計				円	円	円	

※「技能検定受検申請書」と「一括納付内訳書」の氏名は、同じ順番に揃えてください。

※振込確認書類の写しを必ず貼付してください。

※一括納付内訳書の振込金合計額と振込確認書類の振込金額が合致することを確認してください。

※10名以上の振込の場合は、複数枚の一括納付内訳書をクリップ等でまとめてください。

振込確認書類貼付欄
(貼付不可能な場合は、クリップ等でまとめてください。)

【返金口座情報】 必要に応じて記入してください。

※過誤納金等の場合は、受検申請受付期間後の対応とさせていただきます。

※返金口座情報の記載誤りにより再振込が発生した場合の振込手数料は、受検者負担になります。

銀行名		支店名		口座種別	
口座番号		口座名義	フリガナ		

13 受検申請内容変更届

技能検定受検申請書の記載内容に変更がありましたので届け出します。

●申込者情報

ふりがな	
申込者名	
電話番号	※日中連絡がつく番号をご記入ください。
所属先・部署名	

●受検者情報 ※分かる箇所をご記入ください。

職種名			
作業名			
級	受検番号	級	

※受検申請した内容で変更する箇所のみ記入してください。

		変更前	変更後
ふりがな			
氏名			
住所		〒	〒
電話番号			
携帯電話			
情報提供区分 <small>※受検申請受付期間中のみ変更可</small>		はい ・ いいえ	はい ・ いいえ
学歴又は職歴	所属先名		
	住所	〒	〒
	担当者名		
	電話		
	F A X		
	職務内容		
	在職・在学期間		
経験・訓練年数			
その他の項目			

提出方法	
FAX	086-234-1806
メール	info@okayama-syokunou.or.jp

協会確認欄

申請書	マークシート	受検者名簿	その他

14 技能検定受検案内・受検申請書申込書

岡山県では、受検案内を次の配布場所で配布しています。また、受検案内及び受検申請書を宅配便(送料着払い)で送付するサービスを行っております。

なお、宅配便で送付する場合は、送付までに数日を要する場合があります。送付対応は、**4月10日(金)申込分まで**とさせていただきますので、余裕をもってお申し込みください。

また、宅配便以外での送付及び電話、口頭等での申込みには、対応いたしかねます。

申 込 方 法

FAX 086-234-1806
 メール info@okayama-syokunou.or.jp
 郵送 〒700-0812 岡山県岡山市北区出石町1丁目2番11号 イマージュ・シャトー2階
 岡山県職業能力開発協会 宛て

●申込者情報

ふりがな	
申込者氏名	
送付先住所	〒
電話番号	
事業所(団体)名 所属・部署名	
配達希望時間	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 午前中 <input type="checkbox"/> 14時~16時 <input type="checkbox"/> 16時~18時 <input type="checkbox"/> 18時~20時 <input type="checkbox"/> 19時~21時

●申込内容

受検案内	受検申請書	受検級	作業名	備考
部	部	級	作業	
部	部	級	作業	
部	部	級	作業	
部	部	級	作業	
部	部	級	作業	

※岡山県で受検又は受検を検討されている方は、お申込みいただけます。
 ※受検案内の部数は、数量によりご希望に添えない場合があります。
 ※受検申請書は、様式を変更しない場合に限り、次回申請時にもご利用いただけます。

●配布場所

- | | | |
|---------------------|----------------------------|------------------|
| 岡山県職業能力開発協会 | 岡山市北区出石町1-2-11イマージュ・シャトー2階 | TEL:086-225-1547 |
| 県立南部高等技術専門学校 | 倉敷市新田3241 | TEL:086-424-3311 |
| 県立北部高等技術専門学校 | 津山市川崎953 | TEL:0868-26-1125 |
| 県立北部高等技術専門学校美作校 | 美作市安蘇345 | TEL:0868-72-0453 |
| ポリテクセンター岡山 | 岡山市北区田中580 2階 訓練課事業主係 | TEL:086-246-2530 |
| 中国職業能力開発大学校 | 倉敷市玉島長尾1242-1 | TEL:086-526-0321 |
| 岡山県産業労働部労働雇用政策課 | 岡山市北区内山下2-4-6 8階 | TEL:086-226-7387 |
| 岡山県庁 | 岡山市北区内山下2-4-6 1階 県民室 | |
| 岡山県立図書館 | 岡山市北区丸の内2丁目6-30 | |
| 県内各県民局・地域事務所・各市町村役場 | | |
- 詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。



●技能検定に係る相談、お問い合わせ、申込先

岡山県職業能力開発協会 技能振興課
 〒700-0812 岡山市北区出石町1-2-11
 イマージュ・シャトー2階
 TEL :086-225-1547
 FAX :086-234-1806
 E-mail: info@okayama-syokunou.or.jp
 URL :https://www.okayama-syokunou.or.jp

